

ちんがらこ

金子みすゞ

ちんが、ちんが、ちんがらこ。

切れた草履せうりを手に提さげて、
麥の中みちちんがらこ。

飛ぶとき遠くの川瀬がみえた、
あつちのあぜの、豆の花みえた。

麥も飛ぶたび飛ぶやうな。

みちの縁ゆちにはげんげ草、
菜種もこぼれて咲いてゐる。

右に花摘つみみ、左に花摘つみみ、
切れた片かたしが邪魔じやまになる。

切れた草履せうりが要いるものか、
ぽんとはうつて、ちんがらこ。

ちんが、ちんが、ちんがらこ。



『金子みすゞ全集』(JULA出版局)

※ちんがらこ…子どもが片足を後方にあげ、他の片足でとび歩く遊び

表紙の説明

おいしいお米になあれ!

小学校で田植えを体験

6月4日(木)、日置小学校の5年生児童が、学校近くの田で田植えを体験しました。

例年は全校児童で田植えを行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は5年生児童の15人が体験。また、地域住民ら約20人がボランティアとして集まり、児童らに苗の上手な植え方を指導しました。この日植えられたのはうるち米「きぬむすめ」で、10月に収穫を予定しています。



▲児童は泥だらけになりながらも作業を楽しむ

長門市の DATA

(令和2年6月1日)

人口	33,301人	(-30)
男	15,443人	(-18)
女	17,858人	(-12)
世帯数	15,900世帯	(-18)

()内は先月比

(5月分)	出生	14人	死亡	36人
	転入	47人	転出	55人

編集後記

新型コロナウイルス感染症で感染者に対する匿名性を利用した悪意のある言葉を使ったり、ぼろ中傷がSNSなどでたびたび問題となるなど再度、「ことばの力」を見つめ直すことが求められています。▼感謝の気持ちを伝えること、人を傷つけること(ことば)一つ。このような状況だからこそ、相手を思いやるころをみんながもち、生活していく必要性が感じられます。▼今回の特集では長門市出身の金子みすゞの「ことばの力」を取り上げています。すべてのものに温かいまなごしを注いだ金子みすゞの言葉に注目してみましょう。

